

リニア中央新幹線の京都ルートへの整備について

【担当省庁】国土交通省

提案

リニア中央新幹線の京都ルートへの整備

- 我が国の大動脈となる東京・大阪間のリニア中央新幹線については、「観光立国」の実現に京都が果たす役割の重要性を踏まえ、高い経済効果等が認められる「京都駅ルート」を検討していただきたい。

【京都府の担当部局】

建設交通部 交通政策課 075-414-4359

<参考>

◆「明日の京都高速鉄道検討委員会」提言(H24. 2)抜粋

4 今後の進め方

リニア中央新幹線については、近畿圏全体、ひいては我が国全体の発展に資するか否か、メリット・デメリットについて比較検討する視点も重要と言える。

重要な国土軸である東京・大阪間を結んでいる現行の新幹線ルート上に京都が位置していることで、学術的な集積に触発された先端産業が京都に立地している産学両分野における優位性、また、京都の魅力である文化的優位性を最大限に活かせるよう、「京都駅ルート」の実現を目指し、働きかけていくべきである。

また、関西全体にとっても、広域交通ネットワークの構築の可能性を考慮しつつ、「3ルートでの分析及び検討」での比較検討を更に深め、国及びJR東海においても、名古屋・大阪間の具体的なルートの比較検討を早急に実施し、京都、関西の将来発展にとっても望ましいルートとすべきである。

さらに、リニア中央新幹線の整備効果を最大限発揮させるために、名古屋・大阪間のルートを確定させ、東京・名古屋間に遅れることなく、東京・大阪間の全線を一体的かつ早期に完成させるべきである。

あわせて府民に情報提供をしていくことで、リニア中央新幹線について府民意識を高め、議論を活性化させていくことや、関係府県などとの協議・調整も肝要と考える。

(明日の京都の高速鉄道検討委員会構成メンバー)

池坊 美佳 (華道家元池坊青年部代表)
上村 多恵子 (京南倉庫(株)代表取締役社長)
奥野 史子 (スポーツコメンテーター)
柏原 康夫 (京都商工会議所副会頭)
黒田 勝彦 (神戸大学名誉教授)
須田 義大 (東京大学生産技術研究所教授)
中川 大 (京都大学大学院工学研究科教授)
由木 文彦 (京都市副市長)
太田 昇 (京都府副知事)

◆京都の未来を考える懇話会 第一次提案（抜粋）平成24年3月12日

生活創造都市・京都

京都に本社機能を置くエネルギーや環境関連等の分野における世界的企業の集積を活かし、学研都市への世界最先端の環境&生命科学系の研究所等の誘致や、生活を豊かに創造する中小企業・ものづくり産業の新たな展開により、未来型のエコ&ライフ・コンテンツを創造し、安心・安全の暮らしを担保するとともに世界に発信します。

- ✓ 「原子力エネルギー・ゼロの京都」(循環型社会モデル都市の実現)
- ✓ 京都イノベーションベルト構想の実現(京都市桂から学研都市一帯を未来型新市街地に)
- ✓ 人・ものをつなぐ交通インフラの整備(関空アクセスやリニア京都ルート、京都舞鶴港を門戸とした海外交流ネットワーク、「歩いて楽しいまち」やLRT(革新的路面電車)など)

(京都の未来を考える懇話会構成メンバー)

- 山田 啓二 (京都府知事)
- 門川 大作 (京都市長)
- 立石 義雄 (京都商工会議所会頭/京都商工会議所連合会会長)
- 松本 紘 (京都大学総長)
- 柏原 康夫 (京都府観光連盟会長/京都市観光協会会長)
- 池坊 由紀 (華道家元池坊次期家元)
- 白石 方一 (京都新聞社代表取締役会長兼社長)